

飛州志

二上

農務省
和圖書
第一號
共二冊

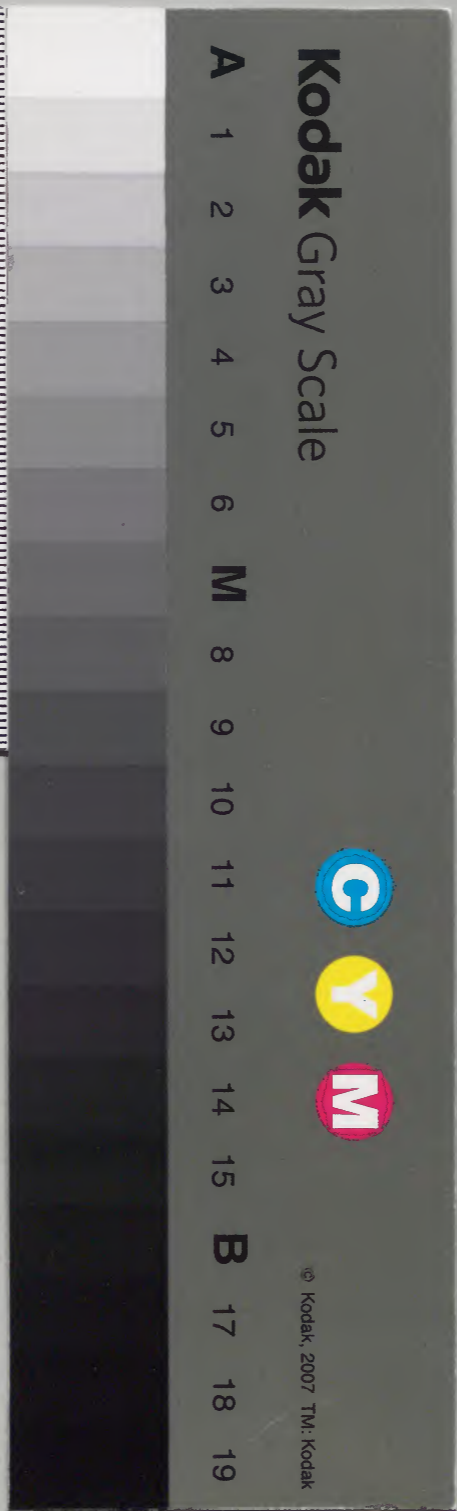
一六六号

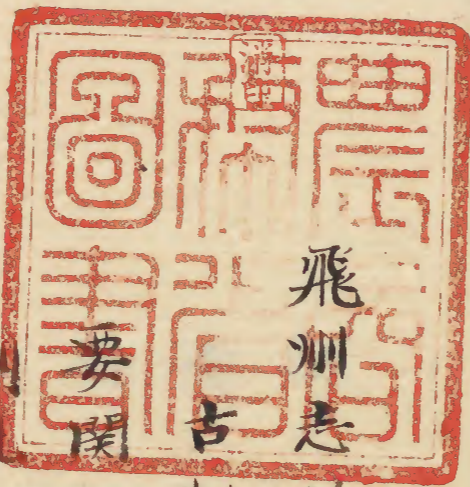
共三〇冊

大政官文庫		
和	一	一
書	三	八〇
門	二	〇
	冊	架

內閣文庫		
和	一	一
書	三	八〇
類	二	〇
	冊	架

內閣文庫		
番號	和	11380
冊數	20 (3)	
函號	174	201





飛州志 卷第之二 國法部目錄

古制

名數

制

記里杭

驛路

所在于國界之村里之名

奴婢事人期限

鐵炮制限

年稅雜穀之代米



燒鳥

忌鐵山澗

稻之束數考

私呼

橋板木森木龍

洲巖石田

物產

材木名品并通稱附暇屁通稱

搏木名品并通稱

找木搏木出他州運漕之通稱并中綱之製

筏之製

白木品類

楮并造紙名品

蓋蚕通稱并種子名品

絲并綿附飛驒細涼袴之製

批目細工

茶

監

鷹

金銀銅鉛

柴薪附國名

炭

古今藥艸并名品附國名

焰硝

蠟

漆

膏油

陶器

魚菓菜穀稱地名類

飛州志卷第之二國法部

○要関名數

本土今所在之関數三十一ヶ所通稱口國界或ハ

往來ノ要路ニ建テ土著ノ役人各交代ニテ守之

是自他國ノ僧俗男女ノ出入ヲ改メ商賣ノ諸品

ハ悉ク其真數ヲ正ニ運上ヲ納メリ通稱口役銀

是古来定法ノ壁書アツテ沙汰セリ故ニ州内ヨ

リ出ルモノハ高山國府ニ集メ治所ニ訖工各運

上ヲ納メ印證ヲ得テ通行セリ通稱口或ハ其

地名ヲ載ス ○下原口益田郡中切村ニアリ自

是濃州金山町ニ出ル ○福来口同郡福来村ニ
アリ自是濃州田島村ニ出ル ○門和佐口同郡
門和佐村ニアリ自是濃州佐見村ニ出ル ○御
厩野口同郡御厩野村ニアリ自是濃州小郷村ニ
出ル ○門原口同郡門原村ニアリ自是濃州岩
谷村ニ出ル ○大淵口同郡小川村ニアリ高山
ヨリノ中関也 ○上馬瀬口同郡中切村ニアリ
自是濃州小川村ニ出ル ○下馬瀬口同郡西村
ニアリ自是濃州弓懸村ニ出ル ○上今洞口同
郡上ヶ洞村ニアリ自是信州川浦村ニ出ル ○

渚口大野郡渚村ニアリ高山ヨリノ中関也 ○
山之口同郡山之口村ニアリ高山ヨリノ中関也
○阿多粕口同郡阿多粕村ニアリ高山ヨリノ中
関也 ○大原口同郡大原村ニアリ自是濃州坂
本村ニ出ル ○寺河口同郡寺河口村ニアリ
自是濃州霰村ニ出ル ○野々俣口同郡野々俣
村ニアリ自是濃州鷺見村ニ出ル ○牛首口同
郡牛首村ニアリ自是越中国大勘場村ニ出ル
○小白川口同郡小白川村ニアリ自是越中国赤
尾村ニ出ル ○椿原口同郡椿原村ニアリ高山

ヨリ、中関也 ○羽根口赤城郡羽根村ニアリ
 自是越中国木無瀬村ニ出ル ○ニツ屋口同郡
 ニツ屋村ニアリ自是越中国長谷村ニ出ル ○
 小豆澤口同郡小豆澤村ニアリ自是越中国蟹寺
 村ニ出ル ○加賀澤口同郡加賀澤村ニアリ自
 是越中国加賀澤村ニ出ル ○中山口同郡中山
 村ニアリ自是越中国蟹寺村ニ出ル ○荒田口
 同郡横山村ニアリ自是越中国猪谷村ニ出ル
 ○茂住上口茂住下口同郡茂住村ニアリ自是越
 中国長棟村ニ出ル ○跡津川口同郡跡津川村

ニアリ出所同上 ○山野村口同郡下本村ニア
 リ自是越中国有峯村ニ出ル ○和佐保上口和
 佐保下口同郡和佐保村ニアリ高山ヨリ、中関
 也 ○平湯口同郡平湯村ニアリ自是信州大根
 川ニ出ル 以上國界ノ村名兩國同稱ナルモ、
 アリ此類國界ニ間アルト可知

○制札

本土今所在制札ノ名目ヲノス ○忠孝
 ○毒藥 ○人賣買 ○切支丹 ○駄賃
 ○火附者 以上六札アリ文詞ハ畧之國府小府
 ヲ始メ凡テ驛路ノ村里毎ニ建之其餘ノ村里ニ

於テハ切支丹火附ノ西札ヲ建来レリ

○記里杭

本土ニ於テスヘテ往還ノ驛路其一里毎ニ建ル
慶ノ抗ナリ是則他州ニ於テ一里塚トイフニ同
ニ元来州内ノ道路狭窄ナレハ路傍ニ塚ヲ築ク
ヘキ地少シ故ニ杭ヲ建テ其里數ヲ誌エ道ノ丸
右ニ備ヘリ所謂其銘

從高山何里

凡テ高山ノ國府ヲ中央トシテ東西南北ノ四道
是ヨリ分ル行程ニ國府ヨリ計リ各國界ニ至リ
終レリ其一里ト稱スルハ多ク五十町ヲ用ヒ来
ルト見エタリ

○驛路

本土ニ於テ隣國往來ノ本道四道アリ東ハ阿多
野筋日和田通野麥通ト稱ス南ハ益田筋竹原通
下原道馬瀨通优美通白川通郡上通ト稱ス西ハ
川上筋白川筋ト稱ス北ハ下山中筋越中通ト稱
セリ各其順路ノ村里ヲノス所謂 ○東道 國

府高山町江名子村山口村辻村見座村甲村万石
村上見村大廣村黒川村尾瀬力洞村黍生谷村猪
鼻村中宿村下向村日影村上力洞村河多野鄉村
日和田村以上河多野島日和田通也上力洞村野
麥村以上野麥通也自是信州野島日和田通也上力洞村野
石浦村宮村山梨村久々野村無數河村引下村木
賊洞村長湍村諸村門坂村小坂町村坂下村宮田
村奥田洞村上品村萩原町花池村中呂村東上田
村湯島村小川村兼改村宮地村野尻村御所野村
以上竹原通也自是濃州加子母村出ル宮地村夏焼村田口村門和依

村以上佐美通也自是濃州 湯島村少箇野村三原
村門原村保井戸村以上郡上通也自是濃州 保井
戸村瀬戸村和佐村福来村中津原村大松戸村以上
白川通也自是濃州 瀬戸村三淵村中切村下原町
渡村以上上下原通也自是濃州 國府高山町宮村山之口
村尾崎村中切村以上馬瀬通也自是濃州 尾崎村野上
村羽根村名九村井谷村總嶋村西村下山村以上
通也自是濃州 弓 ○西道 國府高山町上岡本
縣村也出ル
村春國村新宮村三日町村牧箇洞村藤瀬村福寄
村三谷村坂村有巢村二俣村中野村楢谷村大原

村 以上河上筋也自是 國在高山町牧箇洞村笈厩
 村 濃州坂本村 = 出ル 村上小鳥村六厩村三尾河村寺河戸村黒谷村總
 則村猿丸村新淵村町屋村野々俣村 以上白川筋也自是濃州
 鷲見村 出ル 新淵村中畑村牧戸村牛丸村岩瀬村赤谷
 村中野村海上村尾神村福島村牧村御母衣村平
 瀨村保木服村野谷村大牧村鳩谷村椿原村 以上
筋也自是越中州 鳩谷村飯島村内箇戸村椿原村
加須良村 = 出ル 鳩谷村飯島村内箇戸村椿原村
 小白川村 以上白川筋也自是越中州 ○北道 國府
 高山町七日町村桐生村本母村下切村三川村廣
 瀨村廣瀨町村是重村小存古川町杉寄村架波丸

村野口村大無雁村小無雁村角川村中澤上村保
 木村有家材村羽振村 以上山下山中筋越中通也自
 角川村二ツ屋村 以上越中通也自是越中 大無雁村
 落合村岸與村野首村林村牧戸村丸山村三河原
 村打保村戸谷村小野村桑筒谷村杉原村小豆澤
 村 以上越中通也自是越中州小豆澤村 = 出ル但
問ア 河 也

○所在國界村里之名

本土ハ美濃信濃越中加賀越前ノ五州ニ又マル
 トイハトモ加賀越前ノ二州ニハ順路ノ村里十

之故ニ濃信越ノ其國界ニアル地名ヲ載ス

○益田郡下原町山町ニ濃州金 ○同大船渡村濃州小野村

濃州出ル ○同保井戸村濃州岩 ○同下山村濃州野

原村出ル ○同西村濃州弓 ○同中切村濃州野

濃州出ル ○同御所野村濃州弓 ○同野

麥村濃州出ル ○同日和田村濃州小

○大野郡大原村濃州坂 ○同寺河戸村濃州上

○同野々俣村濃州水 ○同小白川村濃州中

○同牛首村濃州越 ○吉城

○同羽根村濃州水 ○同二屋村濃州中

郡加賀澤村濃州越 ○同小豆澤村濃州越

○同谷村濃州越 ○中山村

○同左吉村濃州越 ○枚山村

○横山村濃州越 ○太多和村濃州越

○同依符村濃州越 ○平湯村濃州越

○和依符村濃州越 ○平湯村濃州越

○奴婢事人期限

○平湯村濃州越

○太多和村濃州越

○枚山村濃州越

○奴婢事人期限

○平湯村濃州越

○太多和村濃州越

○枚山村濃州越

○奴婢事人期限

本土ノ民間ニ於テ奴婢ヲ仕フノ期限アリ各其
期月ヲメス ○益田郡ハ二月二日ヨリ同年ノ

八月二日ニ至ル又八月二日ヨリ翌年ノ二月ニ
日ヲ限りトス是半季也 ○大野郡吉城郡八十
二月ヨリ翌年ノ十二月ヲ限りトス是一季也
○大野郡國府高山町ハ二月二日ヨリ翌年ノ二
月二日ヲ限り一季トセリ

○鐵炮制限

本土ニ於テ今所在之鐵炮總負九百十七挺アリ
所謂獵師鐵炮威鐵炮也其制限ノ法ヲノス ○
獵師鐵炮七百三十四挺ハ州内ノ民古來持傳工
テ所用トスル處也其一挺毎ニ治所ノ印札ヲ以

テ證トス ○威鐵炮百八十三挺ハ州内ノ村里
ニ預リ來ル處ニテ全ク獵用之為ニハアラス是
鳥獸ノ田畠ヲ荒シ作毛ヲ食フ損害ヲ威シ退ル
マテニ玉ヲ用イズ打放ツテニ用ユ故ニ冬ハ悉
ク是ヲ治所ニ納メテ官庫ニヲク毎歲二月ニ至
レハモトノ村里ニ返シ渡シテ九月マテハ放ツ
テヲ許スラ法トス又總負數ノ外ニ取上鐵炮ト
稱スルモノアリ是ハ元來民ノ所持タリト云ヘ
トモ悉ク具足等ノ損失セシモノノ類私修補ヲ加
フルテ制限タルニヨツテ則官庫ニ藏メタルモ

ノ也並ニ鉄炮ヲ持傳ヘタル民死モセエトキ是
ヲ譲リ傳フヘキ子孫或ハ親族モナキニ至ツテ
ハ同ク取上テ官庫ニ藏ムル法也

○年稅雜穀代米

本土ハ凡テ平陸ノ地少シ猶山奥ニ至ツテハ皆
畠ノ村里多シ故ニ精米其地ニ乏シク他ノ精米
ノ價ヲ用イ金銀ヲ以テ貢納スルヲ石代金納ト
稱セリハ諸州トモニ同シ然ルニ是ヲ收納ス
ルニ期月ノ法アリ仍テ其期月ノ際限ニ至ツテ
民ノ難渋セサルタメニ定メタル古法也則秋成

ノ最初ニ其地ニ於テ民ノ作り出セル雜売ノ類

何トイフニハ限ラス其民ノ年貢ノ石數ニ應エ

テ法ノ如ク納メサセテ郷藏ニシラケリ郷藏トイフハ

村數十モ二十モ總合セテ其夕ヨリヨキ村里ニ
建テ是ニ集メ自是治所ノ官庫ニ運送スル也故
ニ寄蔵トモ云ヘリ其雜売ヲ以テ精米ニ充ル處ノ國法ヲ

ノス ○稗一斗精米三升ニ充 ○蕎麥一斗精

米五升ニ充 ○粃一斗精米五升ニ充 ○大豆

一斗精米ノ六升ニ充 ○小豆一斗精米七升ニ

充 ○粟一斗精米一斗ニ充以上是本土古今ノ

法也則如此雜穀ヲ以テ年稅ヲ價ナ是ヨリ期月

マテノ間ニ村民各正金銀ヲ調畧ニテ治所ニ納
メリ於テ茲初メ郷蔵ニヲク處ノ雜穀ヲ出シモ
トノ村里ニ返シ渡ス丁也誠ニ古法ト可謂歟

○燒畠

本土山奥ノ邨里ニ於テハ甚田畠乏ニキガ故ニ
深山溪間トイヘトモ波地偏頗ノ地ヲ益ニテ燒
作レリ号シテ燒畠トイフ是也尤用材ニ伐出ス
ヘキ生木モナク無若ノ山澗ヲ以テ是ニ元ツ其
及別ハ在ツテ高ハナシ其年税ノ法ハ精米ヲ以
テ定メテ金納トセリ其燒畠一又歩ハ二及歩ヲ

以テ是ニ元ルヲ古ノ法トス此餘歩ヲ号シテ伐
替畠ト稱ス凡テ燒畠ヲ作ルハ田畠ノ畝ト云フ
區界ヲモ作ラス其種子ヲマクモ地ノ限り畠石
ノ間マテモ蒔ト云フニ成セリ猶作法下ニ載
ス ○凡燒畠ヲ作ルハ先ツ其地ニ生スル處ノ
艸木ヲ秋ニ至リ悉ク刈倒ニテ其地ニ捨置クナ
リサテ明年ノ春雪ノ漸ク消タルトキニ火ヲ放
ツテ其枯タル枝葉ヲ燒ク則其灰ヲ糶トナシテ
糶ヲマク也後其實ヲ得ルトキ稗ノ穗ハカリラ
トリテ売ラハ其地ニ残セリ是猶翌年モ燒テ糶

ニ用ユヘキノ為也 ○翌年ハ前年刈残レ置ク
ル處ノ稗ノ散シ燒テ其灰ヲ糶トシテ粟ヲ作レ
リ實ヲ得ルトキ穀ヲ残スト稗ニ同ニ則其翌年
モ又粟ノ壳ヲ燒テ其灰ヲ糶ノ用イ蕎麥ヲ作ル
ヲ終リトス是太際也故ニ此三種ニモ限ルヘカ
ラス其土地ニ應シテハ外ノ種子ヲモ作ルト可
知 ○以上三年ニ至レハ其地既ニ疲テ種子實
ノラス或ハ蕎麥ハ穀モ其地ニ残ラサレハ燒ク
ベキ糶モナシ仍テ其地ヲ捨テモトノ如ク草木
ヲ立ル丁凡三年共四年ニ至ツテ又立戻リ前條

ノ如ク成ニ作ルヲ燒畠ノ法トスル也故ニ伐替
畠ト号シテ初ノ一倍ノ餘歩ヲ與フル丁此時地
ハ休ムト云ヘトモ伐替畠ヲ以テ法ノ如ク作り
テ氏ノ夫食ヲモ失ハズ年税尤急ル丁ナカクモ
メニガ故ナリ此外作毛ノ熟スヘキ地ハ新田畠
或ハ見取田畠ト稱シテ作ルモ悉他州ニ等シト
云ヘトモ是ラハ必ス燒畠ノ例ニハ非スト可知
也 ○倭漢三才圖會卷五十六曰 廣韻云曝火
田也不耕而火種也漢語鈔云橫截山作畠謂之截
幡其先燒後耕謂之燒幡既謂曰疇何不耕作下畧

○忌鐵山澗

本土ニ於テ古來鉄ヲ鑿往來致スヲ禁忌トス
ル山澗アリ但シ太カカ鎗長カノ類ハ其障リナ
シ其餘ハ鉄鉛ヲ始メトシテ鉄鎌鍋釜ヲ忌メリ
其地名ヲ載ス ○位山大野郡久々野郷ニアリ
○白川郷同郡ニアリ ○文道寺峠吉城郡小鷹
利郷三河原村ニアリ ○千貫橋同郡高原郷横
山村ニアリ ○大坂原同郡吉城郷八日町村ニ
アリ以上 按スルニ禁忌未由未詳里民モ其地
主ノ神或ハ其山神ノ崇リアルト心得稱スル而

已也然レトモ強テ通行スルトキハ必ス其地大
風吹出或ハ氷ヲ降シ或ハ不晴ノ寒冷來ツテ作
毛損亡ノ凶事アリト云ヘリ故ニ古來ノ俗習ニ
マカセテ各首夏ヨリ晚秋ニ至ルマテハ通行ヲ
止ノ佗ノ道路ヲ往來スルヲ古今ニ至レリ

○稻之束數考

本土ニ於テ木ヲ刈リテ一束ト稱ルノ法也是上
古ハ國ニ石計反別ナク町數或ハ稻ノ束數ヲ以
テ稱スル處古記ニ見エタリ然レトモ其一束ノ
法ニ於テハ詳ナラサルカ 按スルニ此州ノ民

ハ今世モ専ラ束数ヲ稱スルモノ多シ既ニ已カ
所持スル田畠ノ高反別ヲハ分明ニ心エズニテ
何百束刈ノ地何十束刈ノ田ト云ヘリ年毎ノ稻
ノ豊凶ヲ語ルモ五束刈ノ田ヨリ六束ヲ得或ハ
四束ニ及バズヤント云フ民ノ通語タリ但シ
上古ヲ辨ヘザレハ此州ノ法ト云ヘルモ是ニア
タルヘキヤ其可否ヲ知ラス唯州内一般ノ習風
タルガ故ニ若古風ノ遺在セルモノカ其大旨ヲ
載ス ○稻一把ハ農夫ノ鎌ヲ以テ刈揚ル其掌
ノ中ノ一握ナルモノ云ツラ合セテ一把ト稱セ

リ是ヲ稱ルニハ外ニ稻一株ヲ刈テ稻ボノ方ヲ
結ヒテ繩ノ代リト成シ稱ル也尤此繩ノ代リト
セシ穂モ同シク一把ノ扱ノ數ニ入レリ民ノ通
稱是ヲ三手内一把ト云ヘリ此一手ト云イ一握
ト云フハ大指ト中指ニテ握ラル、マテヲ限リ
トス俗中指ヲ六寸指トモ云ヘル一手ハ凡六寸
圍ホドニシテ一把ヲ圍凡一尺六寸五分ナル歟
刈揚ルニハ婦女モ是ヲツトメスレハ大中小人
ト平均シテ自ラ中人ニ當ルナルヘシ ○稻一
束ハ前條ノ一把十數ヲ以テ一束ト稱セリ故ニ

稻ヲ始メ艸木ニ至ルマテモ總テ一把ト擠ルト
 キハ必ス此法ヲ用ル也或曰古昔稻六十束ノ
 地ヲ以テ一及歩ト定メ六十束ニ不及地ヲ中下
 田トスト云今世ノ民ハ此一手一握ノ掌中ニ甚
 夕異様ヲ巧ミテ年ヲ追テ古法廢レシトセリ是
 下民ノ私ニシテ全ク一把ノ稻ヲ増シテ共田ノ
 束數ヲ減シ他ニ見スヘキノ為ナルヘシ又越中
 ノ人ノ語りケルハ稻一把ハ三手ヲ用ユ一束ハ
 其十二把ヲ以テ擠子ルトナリ濃州ノ民ハ古法
 三手ヲ以テ一把トシ十把ヲ以テ一束トストイ

へトモ今世ハ三手半或ハ四手ヲ用イ敢テ法ニ
 抱ハラストイヘリ

○私呼橋

本土於テ其地ノ民古ヨリ稱シ来ル處ノ号アル
 モノヲ載ス以下各可准知之 ○古馬場橋 益田郡宮

地村ニアリ往古城アリ ○保井戸橋 同郡保井

シトキ馬場ノ橋ナリ ○道河橋 同郡影村

○育女橋 同郡上見村ニアリ ○渚橋 同郡渚村

○今井橋 同郡奥田洞 ○阿多相橋 同郡

間棧道 ○アサムツノ橋 同郡山坂町村ニアリ

余間棧道 ○松尾橋 同郡阿多郡

造ル道 ○阿多相橋 同郡

造ル道 ○阿多相橋 同郡

昔ハ此道ヲ切リ崩シテ今クテ往來セシラ正
年中其岩ヲ切リ崩シテ今クテ往來セシラ正
○乙姫岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○燧岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
ノ三有故ヲ當テ主ノ行衛ヲ尋子カク往古下総國
里ニ有故ヲ當テ主ノ行衛ヲ尋子カク往古下総國
此ニ終ニ死セリ其トモ魂ヤルト云フ今世テ巡人ト適
モト見ニ死セリ其トモ魂ヤルト云フ今世テ巡人ト適
ノト見ニ死セリ其トモ魂ヤルト云フ今世テ巡人ト適
ルト見ニ死セリ其トモ魂ヤルト云フ今世テ巡人ト適
○壘岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○足跡岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○狸岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○金剛岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國

成スヘシト約シテ此地野所行合フ也云故ニ
此号アリ立岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
立岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○雨鳥岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
雨鳥岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○烏帽子岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
烏帽子岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○七夕岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
七夕岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○横岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
横岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○三岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
三岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○桶岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
桶岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
○黒岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國
黒岩 同郡 佐谷村ニシテ並ヒリ出ツ里人云ク往古下総國

平湯村

○私呼石

○義仲ノ腰懸石

左ノ境也朝日將軍

其取龜二似夕

如キ紋号アリ

郡八日町

輝盛天正村

未由ヶ城

雌雄面石

益田郡

○龍石

仲此地

稱義貨

○龍石

○龍石

○龍石

○龍石

○龍石

○龍石

和野

○江馬

○江馬

○江馬

○江馬

○江馬

○江馬

○江馬

○江馬

○江馬

飛川

○龜石

○龜石

○龜石

○龜石

○龜石

○龜石

○龜石

○龜石

○龜石

本信

○鹿石

○鹿石

○鹿石

○鹿石

○鹿石

○鹿石

○鹿石

○鹿石

○鹿石

國説

飛驒ノ車田ト号ニテ稻苗ヲ植ルニ

夫下ノ淵ニ沈ム忽チ雨降ルト也
○吹子石
○割石
○雙六石
○犬石
○鹿石
○龜石
○腰懸石
○私呼石
○義仲ノ腰懸石
○龍石
○江馬
○龜石
○鹿石

往古ヨリノ作法アリ其謂ハ里民モ知ラスト
云ヘトモ古今其法ヲ闕ス由来アルヘキ事也
○車田 大野郡大八賀郷松ノ木村ニアリ此田
ニ苗ヲ植ル法ハ先ツ稲苗一把ヲ田ノ中央ニラ
ク夫ヨリ苗ヲ丸ク巡リテ植ル也サナカラ菅笠
ノ縫目ヲミルニ等ニ里民ノ口碑ニ傳フル處古
昔禁裡ノ御田地ヲハ佃田ト稱ヤリ御供ノ米ヲ
作ル田ノ植ヤウナルトモ云ヘリ猶詳ナルニハ
不及 ○飛驒横田 所在未詳 狂言鞞様之章
白ニ 飛驒ノ横田ノ玉苗ヲミヨボリミヨボリ

ト植テ 行ク 按スルニ 本土ノ田畠ノ字或ハ
村ノ小名等ニモ横田ト云フモノ未知
物産

○材木名品 并通稱 附 瑕疵通稱
本土ニ於テ古今伐出ス處ノ材品ヲ載ス材木ハ
總名ナリ是ヲ分テイフトキハ角物平物末口物
次ニ板子瓦太也并ニ修羅木等ノ号アリ猶其一
品毎ニ隨フ處ノ雜品又多ニ詳ナルニハ不及
○角物凡テ大中小トモニ方木ニ作り長或間取
上何寸角何尺角ト稱ス是也 ○平物凡テ大中

小トモニ幅ト厚アリ長ニ間以上幅何寸厚何寸
ト稱ス是也 ○末口物凡テ大中トモニ圓木ニ
作り末口何尺ト稱ス是也 凡大中木ヲ末口物ト
ル係ニテ末口何サノ丸木ヲハ皮ヲ剥ク
ヘリ圓木ニ削リ作ルニ非ス 圓木ニ作ルハ別
十六面ニ作ルヲ法トス以上ノ三品其木性ハ檜
榊^{ツギ} 柘^{ツカ} 松 栗 姫子 桂也 檜 榊^{ツギ} ヲ上品トス 其余ハ雜
木ト云末口物ノ外ハ角平物トモニ必ス木ノ中
真ヲ去リ作ルヲ割木ト稱シテ本製也 其中真ヲ
去ラス圓木ノ係ニテ作ルヲハ押取ト云ヘリ 雜
製也 ○板子凡テ大中小トモニ幅ト厚アリ平

物ト同ニ長六尺五寸ヲ法トス其木性ハ檜 榊 栗
部 柘 檜 松 姫子 ヲ用ユ又完料ト云モ同製也 ○
修羅木凡テ雜木ヲ以テ雜製ニ作ル材木也 是ハ
上品ノ材或ハ末口物等ノ大材ヲ出スニ用ル助
木也 山 澗 嶮 岨ノ地ニハ是ヲ鋪テ通行ニ或ハ岩
石ニ當リ木ノ痛ムヘキニハ是ヲ以テ隔ツ 猶用
法甚ク多シ常ニ岩石ノ為ニ戰ハニル故ヲ以
テ修羅木ト稱シ末ルモノカ ○材木通稱 元
伐 凡テ山中ニ於テ諸木ヲ杣人ノ伐出スヲ云
或ハ根伐 杣取木取トモ云ヘリ 皆同稱也 ○元



口 凡テ木ノ根ノ方ヲ云 ○木末 凡テ木ノ
 末也末口ト云ニ同也 ○女止 元口末口トモ
 ニ網ヲ通スヘキ穴ノ名也 ○頭巾 凡元末ト
 モニ頭巾ノ形ニ作ル也女止頭巾トモニ其杖木
 間尺ノ銖歩ナルモノ也 ○卷鐵 大杖ニ至ツ
 テハ其木ノ元末ヲ鐵ヲ以テ卷クヲ云是又間尺
 ノ銖歩ナリ ○鍛疵通稱 篋齒此鍛疵ハ生木
 枝ノ析タル處ヨリ生ゼシ真ノ齒也 ○引
 殺生 木ヲ伐放ストキアヤマツテ倒ル末夕真ヲ
 伐放 ヲハル故ニ真ハ根ノ方ニ止マルヲイフ

